

8月4日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

今年はオンラインで
元気に発行中!

ほほ

日刊サマーミュージック ONLINE

Hobo Nikkan Summer Muza



久しぶりに聴いた

激烈壮大なフォルティッシモの魅力

【8/2:東京フィルハーモニー交響楽団】
東京フィルが桂冠指揮者・尾高忠明の指揮で演奏したのは、ベートーヴェンの「三重協奏曲」と、チャイコフスキーの「交響曲第5番」。

特に休憩後の「5番」は、いわゆる14型(第1ヴァイオリン14名)による比較的大規模の編成で、しかもコロナ禍のため自粛していたことによる欲求不満や鬱憤を一気に吐き出すかのような激しさを演奏されていたのが印象的だった。とはいえ尾高は、決して野放図にオーケストラを咆哮怒号させたのではない。注意

深く聴けば、作曲者が綿密に指定した強音の区別——*f*と*ff*、*fff*の区別を、極めて忠実に再現していたことが判るのである。その最強音の音色は初めのうちはお世辞にも美しいとはいえないかったものの、フィナーレではまとまりを見せて来た。おそらくオーケストラにとっては、これが何ヵ月ぶりかで出す大音響だったのかもしれない。

第1部の「三重協奏曲」でのソリストは、ピアノが田村響、ヴァイオリンが戸澤采紀、チェロが佐藤晴真。この若手たちを、尾高がいかに見事に風格の演奏

で包み、彼らを鼓舞し、高みに引き上げて行く偉大な家父長としての役割を示していたことか。

そしてこの3人が弾いたフォーレの「夢のあとに」と、弦楽合奏によるチャイコフスキーの「イワン・サマーリンの栄誉のためのエレーゼ」、それぞれアンコール曲の美しさも、私たちに魅了した。(東条碩夫/音楽評論)



あとにワインとピッツァでディナーもおすすめてです。

早く新型コロナウイルスが落ち着いて、みんなでシェアしながら美味しいイタリアンを食べたいです♪

(チケセン H)

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki パートナーショップのご紹介

イタリアンが食べたい!と思ひ、ミュージアからJR川崎駅を抜けて東口の地下街アゼリアにある「BOCCA」へ。今回はランチで「モッツアレラとバジルのトマトソースの Pasta」とドリンク+スープセット(税抜¥1,080)をオーダー。Pastaは生Pastaでもっちり、ソースは程よいトマトの酸味が

きいてさっぱり。毎日じめじめと暑いけど、美味しいPastaを食べることができて気分もスッキリサッパリです。クーポンを利用して食後のドリンクも追加いただきました。

このお店は石窯で焼くピッツァも美味しいので、公演が終わった



窯焼きピッツァとお肉料理の店 BOCCA

- アゼリア地下
- パートナーショップ特典
- ワンドリンクサービス
- グラスビール/赤白ワイン/ハイボール各種/スパークリングワイン/ソフトドリンク各種(一部除外あり)



ソリストの3名と、桂冠指揮者・尾高忠明

来場者の声

ベートーヴェンの三重協奏曲は初めて聴いたのですが、ピアノトリオの三者三様に音がキレイで、そこにオーケストラの迫力が加わって、とても好きな感じでした。とりあげてくださって良かったです。(50代・会社員・ゆーり) / とても心揺さぶられるプログラムでした。美しさ、力強さ、優美さ、悲しみ...そして、緩急あふれる演奏ありがとうございました。明日を生きる為に、背中を後押しされたような気持ちになりました(LilyBell) / 尾高さんと東フィルのコンビはうん十年前から聴かせていただいている、厚い信頼関係が感じられる素晴らしい演奏でした。生の演奏やっばり良いですね。名演ありがとうございました。(50代・会社員・ROSEBUD) / 6月からだんだん演奏会が再開されてきましたが、ベートーヴェンなどの、どちらかといえば木管や弦の厚い曲が多く演奏されていましたが、今日のチャイコフスキーは金管が金管らしく吹いている音がして、「これ待ってたんだな」と自然と涙が込み上げてきました。アンコールでは、あまり聞いたことのない曲でしたが、この曲を選ばれた経緯をきき、心にしみました。「コロナに勝とう!頑張ろう!」というメッセージが多く発信されている中で、故人を偲ぶ美しいこの曲を聴けたことは、私にとってはとても良かったと思いました。(大学生・ゆっこ)

アーカイブ配信は
8/31日まで視聴できます

ホール座席券・
オンラインチケットは
こちらから▶▶▶



#サマーミュージックで投稿してください!
Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

